

〈避難口/通路誘導灯(両用型) (電源別置型)〉 (壁/天井直付・吊下 兼用型)

FA11112 [C級 片面型]

FA11122 [C級 両面型]

・器具の施工には電気工事士の資格が必要です。施工は必ず工事店に依頼してください。

施工説明

工事店様へ、この説明書は保守のためお客様に必ずお渡しください。

安全に関するご注意

警告

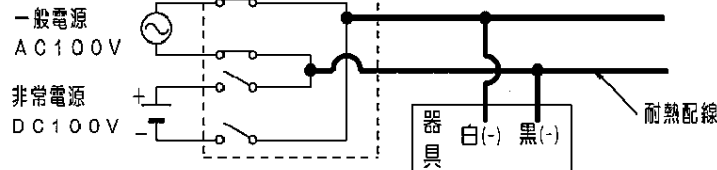
- 施工は、取付方法にしたがい確実に行ってください。施工に不備があると落下・感電・火災の原因となります。
- 器具を改造しないでください。感電・火災・落下の原因となります。
- 壁/天井直付、吊下専用ですので、指定以外の取付はしないでください。落下・感電・火災の原因となります。(両面型の器具を片面型として使用しないで下さい。点灯しない原因となります。)
- 表示された電源電圧・周波数以外の電源で使用しないでください。感電・火災の原因となります。(常時AC100V±6V、非常時DC100V《変動範囲DC85~145V》)

注意

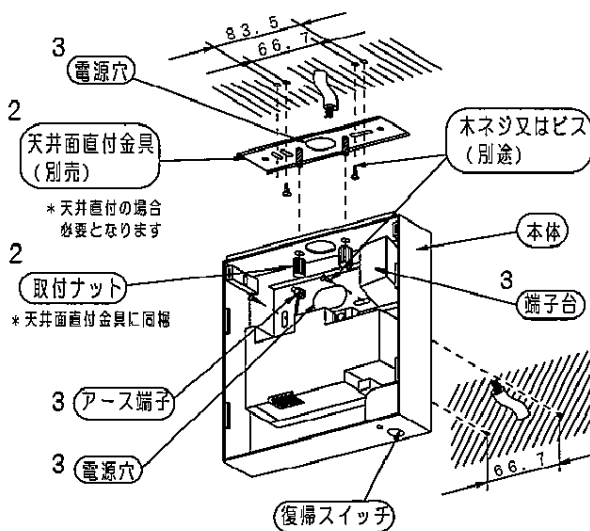
- この器具は一般屋内用器具です、雨水のかかる場所、湿気の多い場所、直射日光の当たる場所、振動の強い場所、腐食性ガスの発生する場所では使用しないでください。火災・感電・落下の原因となります。
- 周囲温度は、5~35℃以外では使用しないでください。火災及び非常点灯しない原因となります。
- この器具の非常用電源までの配線は耐熱配線としてください。非常時に点灯しない原因となります。
- この器具は連続点灯専用で消灯できません。常時の電源は誘導灯専用回路とし途中にはスイッチを設けしないでください。非常点灯しない原因となります。
- この器具の直流回路には極性がありますので、黒側に(+), 白側に(-)を接続してください。故障および非常点灯しない原因となります。
- 非常点灯(直流点灯)は連続して2時間以上点灯しないでください。故障および非常点灯しない原因となります。

配線

この器具は2線配線専用です



各部のなまえと取付けかた



天井面直付金具	適合吊具	適合表示板
FK01785	FP01625 FP01650 FP01675 FP01525 FP01650 FP01575	FK01020 FK01025 FK01036 FK01037 FK01038

1 取付前の確認

- ・器具質量(0.9kg:FA11122の場合)
 - ・ネジを使用する場合は、取付部の強度を確保する。
 - ・ボックスに取付ける場合は、器具用力カバーを使用する。(他のカバーの場合、器具がはみ出る可能性があります。)
- 不備があると器具落下の原因となります。

注)吊具を使用する場合は、適合吊具の取扱説明書を参照して下さい。

2 本体の取付

<天井直付の場合>

- 1 天井面直付金具の電源穴から電源線、アース線を引き込む。
- 2 天井面直付金具を木ネジ又はビスで確実に取付ける。
- 3 本体の電源部、取付部のK、Oを開ける。
- 4 電源線、アース線を本体の電源穴から引き込む。
- 5 本体を取付ナットで確実に取付ける。

<壁直付の場合>

- 1 本体の電源部、取付部のK、Oを内側から外側に向けて開ける。
- 2 電源線、アース線を電源穴から引き込む。
- 3 本体を木ネジ又はビスで確実に取付ける。

取付に不備があると器具落下の原因となります。

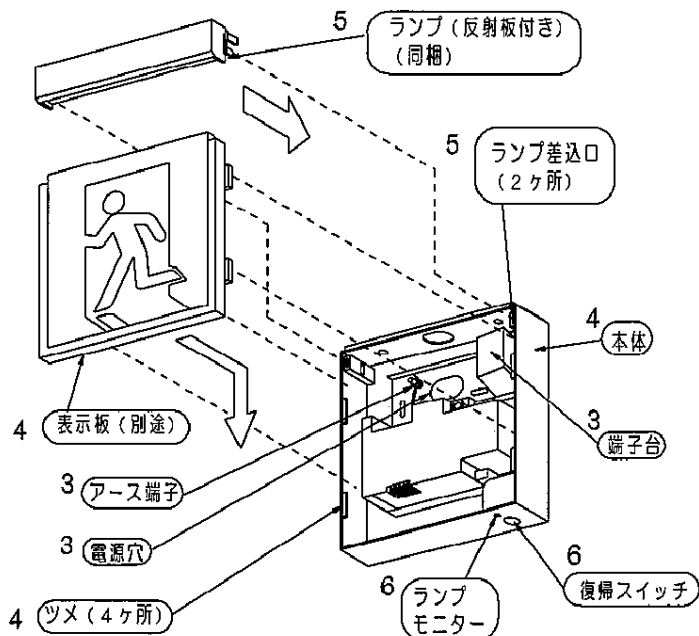
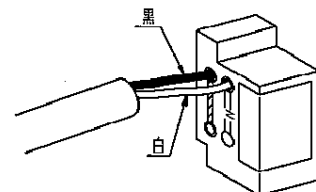
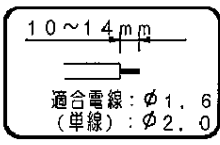
各部のなまえと取付かた（続き）

3 電源線、アース線の接続

- ① 直流電源の極性を確認し、電源線・アース線を確実に接続する。
（直流電源は黒側に（+）、白側に（-）を接続）
- ② D種（第3種）接地工事が必要
- ③ 端子台の容量は20Aです。

接続が不完全な場合や容量オーバーの場合、感電・火災の原因となります。

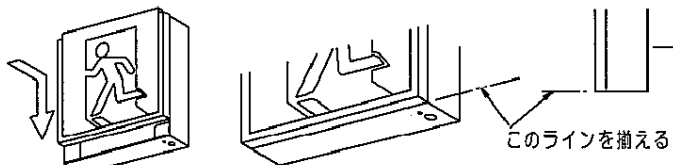
電源の極性間違いの場合、故障や非常点灯しない原因となります。



* 両面の場合、裏側にもランプ（反射板付き）および表示板が付きまます。

4 表示板の取付

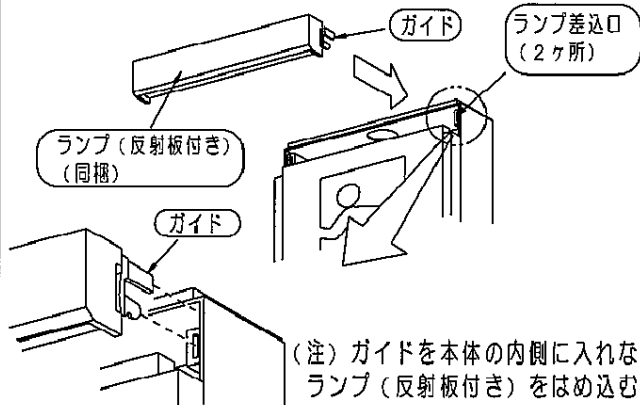
- ① 表示板のツメが本体のツメ（4ヶ所）の上側にくるように合わせる。
- ② 表示板を下側にスライドさせて、本体と下を揃える。



（注）避難方向に表示板の表示方向を合わせてください。
取付に不備があると表示板落下の原因となります。

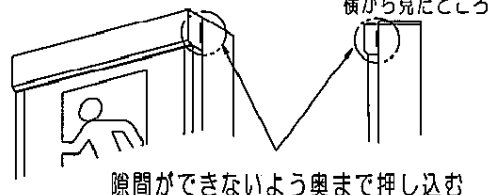
5 ランプ（反射板付き）の取付

- ① ランプ（反射板付き）を本体のランプ差込口にはめ込む



（注）ガイドを本体の内側に入れながらランプ（反射板付き）をはめ込む

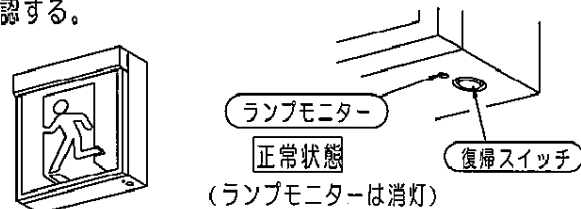
- ② ランプ（反射板付き）をカチッと音がする奥の位置まで押し込む
横から見たところ



取付に不備があるとランプ（反射板付き）の落下の原因となります。

6 点灯確認

電源通電状態（常時および非常時）でランプが点灯するか確認する。



正常に動作しない場合は「故障かな?」と思ったときは参照してください。

取扱説明

お客様へ、この説明書は必ず保管ください。

・ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みのうえ、正しくお使いください。

安全に関するご注意

警告

- 器具を改造しないでください。感電・火災・落下の原因となります。
- 万一、煙が出たり、変な臭いがあるなどの異常状態のままで使用すると、感電・火災の原因となります。すぐに電源を切り、工事店に修理を依頼してください。
- アルカリ系洗剤は使用しないでください。強度低下による破損の原因となります。

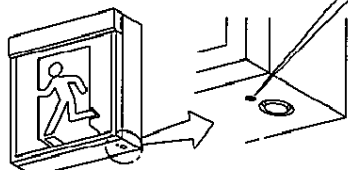
⚠ 注意

- ランプ（反射板付き）は絶対に分解しないでください。感電の原因となります。
- 内蔵部品のカバー等は、絶対に外さないでください。感電の原因となります。
- 照明器具には寿命があります。*1 3～5年に一回は、工事店等の専門家による点検を実施していただき、不具合がありましたら適切に処置してください。放置すると、火災の原因となることがあります。
- 点検時、非常点灯（直流点灯）は連続して2時間以上点灯しないでください。故障の原因となります。

*1 照明器具は、使用条件、使用環境で異なりますが、8～10年が取り替え時期の目安です。

使用上のご注意

・モニターのはたらき



ランプモニター

ランプの交換時期や異常などをお知らせするものです。	点灯しない	正常です
	赤色点滅	ランプ交換時期の目安です。器具設置後又はランプ交換後約6年半をタイマーでカウントし、ランプ交換時期の目安を赤色点滅でお知らせします。
	赤色点灯	ランプまたはランプの接続に異常が発生しています。

(注) ・ランプモニターが点滅しなくてもランプの明るさ低下または変色等の場合ランプを交換してください。

点検方法・・・・・・・・・・電源別置型ですので点検スイッチはついておりません。点検は次の手順で行ってください。

1. 一般電源を切る。
2. 予備電源装置により通電し、非常点灯するかを確認してください。
(一般電源が入った状態では非常点灯の確認はできませんのでご注意ください。)

保証について

- ・保証について
この商品の保証期間は1年間です。
ランプ等の消耗品は除きます。詳細は弊社カタログをご参照ください。
- ・保証書について
保証書が必要な場合は、弊社代理店または弊社営業所へお申し出ください。

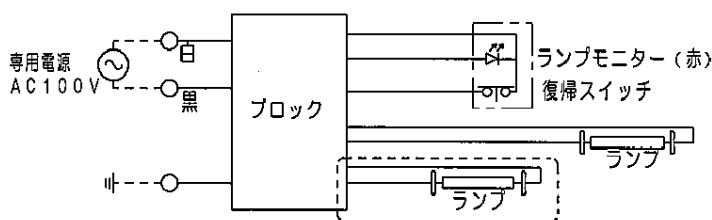
器具定格・接続図

定格

品番	FA11112	FA11122
ブロック	FK09675	FK09677
常時	定格電圧	AC100V
	入力電流	0.07A 0.11A
	消費電力	3.6W 6.6W
非常時	定格電圧	DC100V
	入力電流	28mA 44mA
	消費電力	2.8W 4.4W

【 】内はFA11122

接続図



お手入れ・部品交換

- ・器具の清掃について・・・・水または中性洗剤を用いて、汚れた部分を軽く拭き取ってください。
シンナー、ベンジン、アルカリ系洗剤で拭かないでください。
変色、変質、強度低下による破損の原因となります。
- ・表示板の交換について・・・長期使用により、表示効果が低下（変色・退色）した場合は表示板を交換してください。

ランプの交換方法

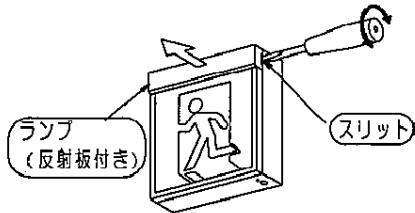
ランプモニターが赤色点滅するとランプの交換時期です。（約6年半毎）
(注) ランプモニターが点滅しなくても、ランプの明るさ低下または変色等の場合ランプを交換してください。

交換部品	ランプ（反射板付き）（ナショナル蛍光ランプをご使用ください）
品番	CF130T4EN/C（FA11122の場合は、2灯同時にランプ交換をしてください。）

お手入れ・部品交換 (続き)

1 ランプ (反射板付き) を外す

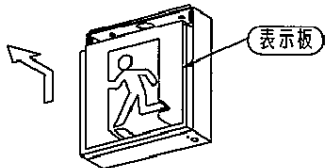
ランプ (反射板付き) を工具 (マイナスドライバー等) で片方ずつ外す



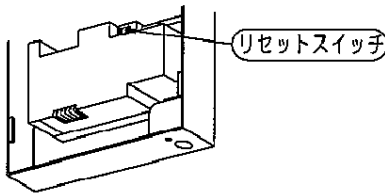
スリットに工具を押し当ててひねりながら外す
(注) 必ず左右とも工具にて外してください。
無理に引き抜くと破損の恐れがあります。

2 表示板を外す

表示板を上側にスライドさせて取り外す

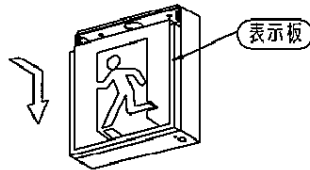


3 リセットスイッチを押す。



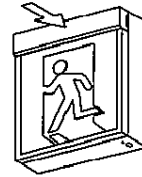
4 表示板を取付ける

表示板を下側にスライドさせて取付ける。



(詳しい取付方法は、各部のなまえと取付けかた (4. 表示板の取付) を参照ください。)

5 新しいランプ (反射板付き) を取付ける



(詳しい取付方法は、各部のなまえと取付けかた (5. ランプの取付) を参照ください。)

正常に動作しない場合は
故障かな? と思ったときは
を参照してください。

表示板の交換方法

1	ランプ (反射板付き) を外す
2	表示板を外す
3	新しい表示板を取付ける
4	ランプ (反射板付き) を取付ける
5	復帰スイッチを押す
注) 復帰スイッチを押さないと点灯しません。	

◆定期点検 3ヶ月に1回は、破損・変形などの外観の点検をおすすめします。
6ヶ月に1回は、必ず外観点検および機能点検を行なってください。
(点検については、消防庁告示第3号および第14号に定められています。)

◆設置年月日 年 月 日 ◆取付場所 ◆器具No.

点検年月日	点検状態		点検者	点検年月日	点検状態		点検者	点検年月日	点検状態		点検者
	外観	機能			外観	機能			外観	機能	

故障かな? と思ったときは

・表にしたがってお調べいただき、なお異常がある場合は、すぐに電源を切り、工事店に修理を依頼してください。

現象	考えられる原因	処置
ランプが点灯しない	インバータ発振停止モードになっている。	復帰スイッチを押す。 (それでも点灯しない場合は、再度電源を入れ直す。)
	ランプ (反射板付き) が外れている。	ランプ (反射板付き) を確実に接続して復帰スイッチを押す。
	ランプ交換後、リセットスイッチを押していない。 信号装置の手动スイッチが消灯側になっている。	ランプ交換後は、リセットスイッチを押す。 通電側にする。
ランプが点滅する (両面型の器具のみ)	ランプ (反射板付き) が外れている。	ランプ (反射板付き) を確実に接続する。
	ランプが片側にしかついていない。	もう片側にもランプを取り付ける。 (両面型の器具の場合、ランプは表裏に計2灯必要。)
表示面が暗い	周囲温度5~35℃の範囲外である。	5℃以下の場合暗くなる。
	復帰スイッチが引っ掛かり出力停止灯状態になっている。	復帰スイッチの引っ掛かりを直す。
ランプモニタが 点滅している	ランプの寿命である。	ランプを交換して、リセットスイッチを押す。
	ランプ交換後、リセットスイッチを押していない。	ランプ交換後は、リセットスイッチを押す。
ランプモニター が点灯している	ランプ (反射板付き) が外れている。	ランプ (反射板付き) を確実に接続して復帰スイッチを押す。
	ランプが破損している。	ランプを交換して、リセットスイッチを押す。
非常点灯しない	非常用電源の接続不良。	正しく接続する。